第 2019-03 号

恵みと真理のニュース

2019 年 01 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています

私は偶像崇拝をする家庭で生まれ育ちました。故郷で高校を卒業した後、アンヤンにある会社で就職をして結婚してからアンヤンに定着しました。上の子の幼稚園の友達のお母さんである区域長から伝道されて恵と真理教会に出るようになりイエス様を救い主として信じ仕える信仰生活をはじめました。神様と聖書の御言葉について知らなかった私は教会に来て神様に礼拝をする時間が非常に楽しかったです。聖徒たちをついて祈って賛美し、説教を聴くと世の全ての悩みがなくなり、心が平安になりました。すぐ、当会長の牧師が伝える御言葉が私に大きい慰めと共に知恵と能力の御言葉になりました。礼拝を捧げてまもなく説教の御言葉を聞く途中で熱い涙が出ました。
御言葉の権能と聖霊の働きでわたしの心に充満な神様の恵みが望まれ心が熱くなり、今まで生きながら一度も流さなかった涙を流しました。真の悔い改めの涙だったし、限りない感謝の涙でした。“ というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができるからです。”（ヘブライ人への手紙４：１２）

その後、礼拝中心の生活でわたしの全ての生活が変わりました。すると、執事の職分を受ける前、区域長の職分をくださいました。足りなくて弱い中でただ従順して感謝する心で職分を受けました。経済的な苦難を受けていましたが、“ 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。”（マルコによる福音書６：３３）という御言葉を信じて主のことに力を尽くしました。主の御言葉を強く掴んで主だけを委ねながらできることを最善を尽くしました。
経済的な苦難によって私も職場に行って働くのを願う旦那の心と周りの人々から否定的な視線と話がありましたが、しかし、そんな迫害を私は主が下さる慰めと平安で勝ち抜きました。旦那と私を否定的に見る人々に“わたしの心霊の貧しさと渇きは世の人々から充たされません。主だけが満足させてくださいます。主の事をしながら得るこの心の楽しさと平安と幸せは世の物質と変えることができません。と大胆に話しました。そうしながら、涙で神様に助けを訴える祈りを捧げました。すると、旦那をはじめ婚家と実家の家族、そして周りの人々の視線が変わり私を理解してくれました。神様は伝道の実りを見てくださり、区域に聖徒が一人、二人、増えてリバイバルをするようにしてくださいました。そして、心霊な喜びがわたしの心に溢れました。現実にある試練とさまざまな問題がまるで海の砂のように小さく思われました。
しかし、旦那に対してはそうではなかったです。経済的な苦難と家長として圧迫を受けながら出勤する旦那の後ろの姿を見るとかわいそうで気の毒だと思いました。旦那にも慰めと能力を与えてくださいと神様に最も切に祈りました。そんな状況で私が歌う賛美は神様に向けた曲調の祈りになりました。聖霊様がわたしの心に感動を与えてくださり、聖歌隊で奉仕すると願いをくだっさて決断して奉仕するようにしてくださいました。神様を賛美することはわたしの人生に
全て主から受ける祝福の通路になりました。
新しい聖殿が建てられることを見ながら建築現金を捧げると決心しました。経済的な苦難がありましたが、神様の恵みと愛に感謝し献金を捧げました。その後、主日礼拝の時間でした。牧師の説教を聴いて祈りをする中で神様がわたしの心にマイホームに対する希望をくださいました。希望が確信に変えて言葉で表現できないほど嬉しくて感謝する心で神様に賛美しました。そのような心の確信が結局、神様の奇跡で現実になりました。“ つまり、こういうことです。惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。 各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。”（コリント信徒への手紙二９：６，７）この御言葉の恵と権能を直接に体験した私はこれを区域聖徒達と多くの人々に証しながら神様に栄光を捧げました。

神様は区域長の祈り会もわたしの家でできるように広い家を購入しようとする希望を抱くようにしてくださいました。神様は希望を下さるだけでなく私たちの夫婦に知恵と能力を与えてくださり、奇跡的な方法で助けてくださいました。望められない状況で望むようにしてくださり、
叶えられない状況で叶えてくださいました。良いことで願いを満足させる神様の恵みで広い家で思う存分礼拝する幸せを享受するようになりました。ハレルヤ！
二人の子供を育ちながら私は他の母がどんな方式で子供を養育するかに大きく関心をおかなくて何よりも信仰教育に力を尽くしました。魂の救いを得ていつどこでもいつも神様を畏れ委ねて愛する人が真の人生の成功者で真の幸せのものであるのを悟ったので子供達が礼拝中心の生活をするように導いてくださいました。神様がこのことを喜ばれて子供達が霊肉共に健康に見守ってくださり、教会で楽しく感謝する心で礼拝して奉仕する生活をしてくださいます。
神様が下さる熱心を持って伝道した結果、区域著のセミナーで当会長の牧師から伝道賞を受けました。私に魂を愛する心と伝道の胆力を下さり、大きい喜びと栄誉を下さった神様に栄光を捧げます。“わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。”（フィリピの信徒への手紙４：１３）“こういうわけですから、人はわたしたちをキリストに仕える者、神の秘められた計画をゆだねられた管理者と考えるべきです。この場合、管理者に要求されるのは忠実であることです。”（コリントの信徒への手紙４：１，２）
アーメン
私を福なる神様の子供にしてくださり、主のことに力を尽くすように恵を下さる神様に感謝捧げます。私たちの教会で当会長の牧師が下さる魂の洋食を食べて充満な恵の中で聖徒らしく生きるようにしてくださる神様を賛美します。主が再び来られる日が近くなったこのとき、揺れなくて心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、主を愛しながら主の事に力を尽くします。神様に全ての栄光を捧げます。

［信仰コラム］

悲しんでいる人

＂悲しんでいる人たちは，さいわいである，彼らは慰められるであろう＂（マタイによる福音書5:4）

イエス様が幸いだと言われた悲しみとは健全な悲しみ、敬虔な悲しみ、信仰的な性格の悲しみを言います。神様に近く進ませる悲しみです。人が大きい悲しみに処されることによって内面的な世界、霊的な世界に対する目が開かれるようになり、生きておられる主神様に進むならその悲しみを越える神様の慰めを得ます。どのように悲しむ者が幸いであっていかなる慰めを受けるかを四つに分けて調べてみましょう。
第一は、罪によって悲しむ人は幸いです。
罪に関連して絶望的な人々がいます。自分は神様に対して罪がないと主張する人、自分の努力で罪の問題を解決できると考える人です。万が一、彼らが一生をそのような主張と考え通りに生きていくなら終局には地獄に入ってしまいます。自分は罪人で、自分の努力では罪の問題を解決できないという事実を認定してこれによって悲しむ人がいます。救いに至らせる悔い改めとは罪によって悲しんで福音を信じることを意味します。
イスカリオテのユダは自分が犯した罪によって自責したが、イエス様から許されることを渇望はしませんでした。彼は首を吊って死に、地獄に入るようになってしまいました。罪によって悲しむことだけで神様が与えられる慰めを受けるのではありません。イエス様に進まなければなりません。イエス様はペトロを許され、聖徒を手掛ける大きい使命を任せてくださいました。悲しんでいたペトロは比べることのできない慰めを受けました。凶悪な強盗だとしても自分が罪人だということを悟って悲しむ心でイエス様の慰めを渇望したらイエス様は彼を救ってくださいました。
第二は、聖徒のように生きるために悲しむ人は幸いです。
ローマ書 7 章を見ると使徒パウロが悲しんで嘆いた告白があります。（ローマ書 7:22～24）。使徒パウロのように信仰が深くなるほど、霊的な感受性がより敏感になり悲しみます。救いを受けるための悲しみではなく聖徒のように生きるための悲しみです。神様を喜ばせることができなかったことによる悲しみです。このような悲しみをすると聖霊の実を実るようにしてくださる神様の慰めが臨みます。 愛， 喜び， 平安， 寛容， 親切， 善意， 誠實、柔和， 自制の実が実ります。
第三は、自分の惰弱によって悲しむ人は幸いです。
神様は人に福を与える前にまずその人が自分の惰弱を切実に悟って悲しむ心を持つようになさいます。このため艱難を経験させることもあります。自分の不足と惰弱によって悲しむ人は神様に頼り、神様の助けを求めるようになります。このような人は神様の権能で臨む神様の慰めを体験するでしょう。険しくて悪であるこの世を生きながら私達は自分の惰弱を知って悲しむ心を持って神様の訴えるべきでしょう。福音を伝えて主の事を行う時に自分の惰弱によって悲しむ心を持ち、神様に深く頼るべきでしょう。そうすると神様の慰めが臨むでしょう。実際的な神様の助けと能力で慰めが臨むでしょう。
第四、隣の人と同胞、国のために悲しむ人は幸いです。
聖徒は救われなかった人々を見る時、哀れんで悲しむ心を持つべきです。偶像に仕える人々、この世の事に心を奪われて福音を外面する人々、滅びの道に行っている数多くの人々によって悲しむ人は熱心にお祈りして伝道するようになります。そして自分が伝道した人が悔い改めてイエスキリストを迎接することを見る時に神様が与えてくださる慰めを受けます。エレミヤ予言者は同族と国のために悲しみながら涙を流しました。国が危機に直面してもこれを悟られない人々によって悲しみました。使徒パウロも自分の同族と国のために悲しむ心で神様に求めました。
皆さんの心には敬虔で崇高な悲しみが常にあって、神様が与えてくださる実際的な慰めを常に体験するよう祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

しないこととできないこと

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

宗教人とは神を信じて崇拝する人を指している言葉です。一般的に、クリスチャンも宗教というカテゴリに含まれています。しかし、厳密に言えば、クリスチャンは、他の宗教人とは異なり、分類するしかありません。クリスチャンが持つ、神の概念は、他の宗教人が持つ神の概念とは全く異なるからです。私たちが信じる、神は、聖書に啓示された方で創造主であり、イエス・キリストの贖いで罪人を救われる救い主であり、すべての人を裁かれる方です。したがって、神は唯一無二です。

イエス・キリストを信じる者には本質上の変化が生じます。罪の赦しを受け義とされ、新しい命を得て、神の子として 新しく生まれ変わる変化が生じます。このような変化を ヨハネによる福音書では**「新しく生まれ変わり」**としました。

イエス当時ニコデモという人がいました。彼はパリサイ人で、律法学者であり、サンヘドリン議会議員であり、かなりの資産家でした。ある日の夜に、彼はイエスを尋ねてきました。ニコデモはイエスに天国に入る道を聞きました。イエス言われた**「よくよくあなたに 言っておく. だれでも 新しく 生れなければ, 神の 國を 見ることはできない 」と**しました

「人は 年をとってから 生れることが, どうしてできますか. もう 一度, 母の 胎には いって 生れることができましょうか 」とニコデモが聞くと、イエスは言われました。**「イエス は 答えられた, よくよくあなたに 言っておく. だれでも, 水と 靈とから 生れなければ, 神の 國にはいることはできない. 肉から 生れる 者は 肉であり, 靈から 生れる 者は 靈である. あなたがたは 新しく 生れなければならないと, わたしが 言ったからとて, 不思議に 思うには 及ばない. 風は 思いのままに 吹く. あなたはその 音を 聞くが, それがどこからきて, どこへ 行くかは 知らない. 靈から 生れる 者もみな, それと 同じである 」. ニコデモ は イエス に 答えて 言った, 「どうして, そんなことがあり 得ましょうか 」**とニコデモが質問するとイエスが説明しました。**「そして, ちょうど モ ― セ が 荒野でへびを 上げたように, 人の 子もまた 上げられなければならない. それは 彼を 信じる 者が, すべて 永遠の 命を 得るためである 神はそのひとり 子を 賜わったほどに, この 世を 愛して 下さった. それは 御子を 信じる 者がひとりも 滅びないで, 永遠の 命を 得るためである」（ ヨハネによる福音書 3：15,16）**

新しく生れは神の言葉とイエスの血と聖霊によってなります。神の言葉を信じて、イエス・キリストを受け入れる人は、イエスの血によって罪の洗いを受け、聖霊で **新しく生れ**変わることになります。このように、イエス・キリストを信じる者に起こる本質的な変化をロ―マ人への手紙 11 章には、木を接ぎ木するものとして説明しました。

「もしある 枝が 切り 去られて, 野生の オリブ であるあなたがそれにつがれ, オリブの 根の 豊かな 養分にあずかっているとすれば, しかし 彼らも, 不信仰を 續けなければ, つがれるであろう. 神には 彼らを 再びつぐ 力がある」

（ ロ―マ人への手紙 11：17,23）

救いの原理が接ぎ木に例えました。石オリーブの木は接ぎ木を通して本質が変わってない限り、真のオリーブの実を結ぶことは決して生じません。イエス様に接ぎ木された人、つまり 新しく生まれ変わった人には確かな外的な変化があります。以前はできたが、今ではできないことができます。

「あなたの前に他の神はいけない。偶像に仕えてはいけない。神の名前をみだりに唱えてはならいけない」と、命令は、真のクリスチャンでならば犯す可能性がありません。

もし、これらの戒めを破った場合には、真のクリスチャンではありません。いいかえれば 新しく生まれ変わった人ではありません。本質的な変化を受けた人ではありません。聖書の中で例を探します。

バビロン帝国の王ネブカデネザルが巨大な金の像を立て落成式にすべての指導級人々を招集しました。王の命令を頒布する者が叫びながら楽器を演奏するとすぐに、すべてが金の像をひれ伏せとしました

拜みしない者は、ベローズ火に投げ入れるとしました。ところが シャデラク , メシャク および アベデネゴ は. 拜みしないで立っていました。ネブカデネザル王は彼らにもう一度拜みする機会を与えるのであるだから拜みしなさいとしました。これに対して、シャデラク。メシャク アベデネゴが王に答えました。**「王よ、もしそんなことになれば, わたしたちの 仕えている 神は, その 火の 燃える 爐から, わたしたちを 救い 出すことができます. また 王よ, あなたの 手から, わたしたちを 救い 出されます. たといそうでなくても, 王よ, ご 承知ください. わたしたちはあなたの 神に 仕えず, またあなたの 立てた 金の 像を 拜みません 」. そこで ネブカデネザル は 怒りに 滿ち, シャデラク , メシャク および アベデネゴ にむかって, 顔色を 變え, 爐を 平常よりも 七倍熱くせよと 命じた」**この言葉を聞いてネブカデネザル王は激怒して、3 人のベローズ火の中に投げ入れました

ところが、驚くべきことに、三人ではなく、四人が火の中に通っていました。王は自分の目を疑いました。そしてベローズに近づいて**「いと高き 神のしもべ シャデラク , メシャク , アベデネゴ よ, 出てきなさい 」と 言ったので, シャデラク , メシャク , アベデネゴ はその 火の 中から 出てき**ました。彼ら火の中から出てくるのを見て火に焼かれた跡もありませんでした。王は神を賛美し**シャデラク , メシャク , アベデネゴ**をさらに高めました。**シャデラク , メシャク , アベデネゴ**は信仰を曲げない信仰、妥協のしない信仰がどのようなのかを示す手本になりました。彼らは偶像に仕えることもしないではなく、偶像に仕える仕事をするのができませんでした

宗教多元主義の者は、イエス・キリストのほかに、救世主があると言います。しかし、クリスチャンは、イエス・キリストのほか、救世主があると言うことは不可能です。神と偶像を兼ね仕える人は、イエス・キリストのほかに、救世主があると言う人に聖職を与えまた学位を与えることによって、その本質が変化しません。その人は本当に悔い改めて、イエス・キリストを受け入れなければなりません。

そして新しく生まれ変わらなければなりません。新しい命を受けて本質上に変化しなければなりません。本質の変化を受けた人は、救世主に対して、場合によって言葉を変える行動をしません。しないだけでなく、そのような行動ができません。

本質上の変化を受けた聖徒は共産主義を容認することは不可能です。共産主義が政治と社会体制を革命を通じて変える初期には、人々が共産主義者が提示する理想に魅了されて支持して同調しました。しかし、理論と実際の間には、膨大な乖離があるのを知るまでは、あまり多くの年月が必要でなかった。共産党一党独裁のための自由剥奪と人権蹂躙と強制収容所と無慈悲で、大々的な粛清を見て、最終的には全人民が平等に豊かになったものではなく、すべてが貧乏人になっている現実に直面しているからです。

専門職業革命家によって中央集権化された党組織とプロレタリア階級独裁を主張するロシアの社会主義労働党の左派であるボルシェビキが一党独裁で権力を握ったが、70 年ぶりに共産主義は、歴史の実験で失敗で終わりました。しかし、まだ、中国は共産党が支配しています。そして、北朝鮮は主体思想が加味された、よりあくどい変種共産主義体制として、北朝鮮の同胞を奴隷化して、韓国を核爆弾で脅しています。

共産主義は無神論に根ざしています。無神論の背後にはサタンがあります。したがって、クリスチャンは共産主義を容認することはできません、共産主義者と協力して仕事をしません。そんなことをしないのではなくすることができません。

皆さんは自分が新しく生まれ変わった者であるかを十分に診断することができます。何よりも聖書観とキリスト教観がその尺度であるが、宗教多元主義と共産主義も、その尺度になります。クリスチャンは、宗教多元主義と共産主義を容認することができませんが、宗教多元主義者と信仰的な仕事を共にしません。共産主義者が求めていることに協力しません。そんなことをしないのではなくすることができません。もしそのようなことが可能な場合は、偽クリスチャンです。新しく生まれていない者であり、キリストに接ぎ木されていない者です。

イエスの警告の言葉です。**「このように, あなたがたはその 実によって 彼らを見わけるのである. わたしにむかって『主よ, 主よ 』と 言う 者が, みな 天國にはいるのではなく, ただ, 天にいますわが 父の 御旨を 行う 者だけが, はいるのである. その 日には, 多くの 者が, わたしにむかって『主よ, 主よ, わたしたちはあなたの 名によって 預言したではありませんか. また, あなたの 名によって 惡靈を 追い 出し, あなたの 名によって 多くの 力あるわざを 行ったではありませんか 』と 言うであろう. そのとき, わたしは 彼らにはっきり, こう 言おう, 『あなたがたを 全く 知らない. 不法を 行う 者どもよ, 行ってしまえ 』（マタイによる福音書 7：20~23）。**

無駄の信仰を持っていながら、自分を欺く信者にならないことです。使徒ペテロは記録することを**「信仰の 結果なるたましいの 救を 得ているからである」（ペテロの第一の手紙 1：9）**しました。魂の救いに至る信仰を持つ人は、新しく生まれた人であり、接ぎ木された人です。この信仰を持つ人にはしないように努力しているだけでなく　することができないことがあります。偶像に仕えることと、イエス・キリストのほか、救いの道があると考えていること、教会を損する仕事をする者を支援することができません。

聖徒の皆さんは、クリスチャンとして行うことができないことについて完全に共感する信仰の所有者がなりますように願います。